

キャリア教育の資質・能力を向上させるための重点単元計画

福山市立新市中央中学校

キャリア教育で育てる資質・能力

3観点	思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/思考・判断・表現
資質能力	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力
中2・3	・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。	日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。
中1	活動をふり振り返り、改善策を考える。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。

学年	教科	単元名(全時間)	教科の目標	キャリア教育で育てる資・質能力	関連企業等						
1	英語	Round 3 (2) Unit 4 Goal	知 ・3人称単数を主語とするbe動詞の文や一般動詞の文について正確に理解している。 ・3人称単数を主語とするbe動詞の文や一般動詞の文を使って人を紹介したり、人についてたずねる文を正確に書くことができる。 思 ・人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、適切にメモを取っている。 ・友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介している。 主 ・人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、メモを取ろうとしている。 ・その人物が誰か友達が分かるように、紹介の仕方を工夫しようとしている。	自己理解 自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。 ★自己表現 自分の将来の夢や目標を持つ。 チ 活動をふり振り返り、改善策を考える。	ALT						
次	時	学習活動 ★出前授業/キャリア	・指導上の留意点	○教科の評価規準 ★キャリア教育で育成する資質能力の評価規準	評価方法 例：行動観察 ワークシート ペーパーテストなど						
1	1	★English Day ALT 16名の自己紹介を中心としたやり取り・活動を通して、ALTがどんな人物であるか、情報を集める ・オープニング 1. ALTの紹介 2. グループ分け 3. 各グループでALTの自己紹介 4. 質問タイム 5. 生徒の自己紹介 質問タイム ・アクティビティ ALTによるデモンストレーション	・情報カードにメモを取りながら、ALTの話聞く。 ・3人称単数を主語とするときの動詞の変化に注意しながら、ALTについての情報を数多く集めさせる。 ・Unit4のGoalの終末課題と条件を説明し、ALTのデモンストレーションを参考に、目指す自己表現のレベルを考えさせる。 《終末課題》 English Dayで出会ったALTの先生の中の1人について、その先生を紹介する英文を作ってみよう。 (条件) ・be動詞、一般動詞、canを使った文を作ること。 ・主語はHe, Sheであること。	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> <tr> <td>人物紹介を聞いて、メモを取ることができた。</td> <td>人物紹介を聞いて、ある程度メモを取ることができた。</td> <td>人物紹介を繰り返して聞いても、メモを取ることができなかった。</td> </tr> </table> ○ALTの話聞いて、印象に残ったことや気づいたことを積極的にメモしている。(知) ○疑問に思ったこと、興味を持ったことなどについて積極的に質問をしている。(思)	A	B	C	人物紹介を聞いて、メモを取ることができた。	人物紹介を聞いて、ある程度メモを取ることができた。	人物紹介を繰り返して聞いても、メモを取ることができなかった。	キャリア・パスポート
A	B	C									
人物紹介を聞いて、メモを取ることができた。	人物紹介を聞いて、ある程度メモを取ることができた。	人物紹介を繰り返して聞いても、メモを取ることができなかった。									
2	1	★English dayでの情報カードをもとに、ALTの紹介文を作ってみる。 ・各班で紹介文を交流し合う。 ・クロージング グループ代表が全体で自分たちの担当ALT紹介文を発表する。 ・ALTからの講評 ・振り返り	・できるだけ多くの生徒が感想を述べられるようにメモを取りながら聞くことを促す。 ・条件に合った文となるように意識させる。	○★身近な人などの情報を紹介する中で、自分の考えや思いを多様な表現方法を用いて説明することができたか。(思/自表)	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> <tr> <td>身近な人などについて、詳しい情報を紹介することができた。</td> <td>身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができた。</td> <td>身近な人などについて、友達にアドバイスをもらったり、教科書の例文を参考にしたりしても、基本的な情報を紹介することが難しかった。</td> </tr> </table> 観察 ワークシート 表現活動 振り返りシート キャリア・パスポート	A	B	C	身近な人などについて、詳しい情報を紹介することができた。	身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができた。	身近な人などについて、友達にアドバイスをもらったり、教科書の例文を参考にしたりしても、基本的な情報を紹介することが難しかった。
A	B	C									
身近な人などについて、詳しい情報を紹介することができた。	身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができた。	身近な人などについて、友達にアドバイスをもらったり、教科書の例文を参考にしたりしても、基本的な情報を紹介することが難しかった。									



本単元での成果・子どもの姿(子どもの意見など)

○自分の覚えた単語を使って、色々な先生方とお話ししたり、反応したりして、授業を楽しみながら活動することができた。これから外国人の人と話す機会があったら、今回の授業で学習したことを活かして、間違いを怖がらずに話せるようにしたい。

○ALTの先生を紹介する言い方を知ることができた。他にもいろいろな質問の聞き方を教えてくださったから、それを使って質問することができた。間違いを恐れずに、日ごろの生活からしっかり積極的に行動する。他にもわからないことがあったらしっかり周りの人に聞いたりもする。

○英語は好きだけど、言ったり聞いたりするのが苦手だから心配だったけど、聞き覚えのある言葉が多かったり、クイズで自己紹介してくれたから楽しかったり、色々なALTの人と話すといろんな会話ができ楽しかった。私は将来、いろいろな国に行って、英語を話したり聞き取れるようになりたいから、これからの英語の授業も分かるまで理解して、まずは聞き取れるようになりたい。

○小学校の時のALTの先生もいて、楽しかったです。いろいろな先生にWhatを使ってたくさん質問をして会話のできたので自信になりました。英語は文系、理系関係なくどちらにも関係するので、頑張って覚えてペラペラ話せるようになりたいです。

本単元での課題・改善案

○生徒にとって、英語がコミュニケーションツールという意識はまだ低い。自分の考えが伝わった喜びを味わせる体験を多く持たせる必要がある。今後も引き続きALTを活かした関わり合い方や、活動を検討・実践していくことが課題である。

○メモを取ることに集中しすぎて、話者と視線が合わせられなかったり、会話をする時もメモに頼りすぎる生徒も見られた。日頃の授業から、即興性のある会話や切り返しができるよう、状況にあった必然性のある場面を設定して、会話をしていく練習が必要である。